

成績概要書（2005年1月作成）

課題分類：

研究課題：平成16年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（植物防疫事業）

担当部署：北海道病害虫防除所、中央農試クリーン農業部予察科・病虫科・総合防除科
上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、十勝農試生産研究部病虫科
北見農試生産研究部病虫科、花・野菜技術センター研究部病虫科、農業改良課

担当者氏名：

協力分担：全道55地区農業改良普及センター

予算区分：補助（農林水産省）、道費

研究期間：2004年度（平成16年度）

1. 目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 方法

- 1) 農作物有害動植物発生予察事業
- 2) 突発および新発生病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査

3. 成果の概要

- 1) 平成16年にやや多～多発した病害虫
 - (1)水 稲：アカヒゲホソミドリカスミカメ
 - (2)春まき小麦：赤かび病（初冬まき栽培）
 - (3)菜 豆：タネバエ
 - (4)たまねぎ：乾腐病、タマネギバエ、ネギアザミウマ
 - (5)ね ぎ：ネギアザミウマ
 - (6)キャベツ：コナガ
 - (7)りんご：キンモンホソガ
- 2) 平成17年度に特に注意を要する病害虫
 - (1)秋まき小麦の土壌病害
 - (2)たまねぎのべと病
 - (3)野菜・花きのアシグロハモグリバエ
 - (4)りんごの腐らん病

3) 新たに発生を認めた病害虫

(1)大豆の紫斑病(耐性菌の出現) *Cercospora kikuchii* (Matsumoto & Tomoyasu)

(2)てんさい・レタスのアシグロハモグリバエ(新寄主)

Liriomyza huidobrensis (Blanchard)

(3)とうもろこしの紋枯病(新発生) *Rhizoctonia solani* Kühn AG1- I A

(4)ソラマメウルトウイルス(BBWV)によるかぶのウイルス病(新発生)

Broad bean wilt virus

(5)アスパラガスのカンザワハダニ(新寄主) *Tetranychus kanzawai* Kishida

(6)オクラの半身萎凋病(新発生) *Verticillium dahliae* Klebahn

(7)ヤーコンのエゾギクトリバ(新寄主) *Platyptilia farfarella* (Zeller)

クロモンキノメイガ(新発生) *Udea testacea* (Butler)

(8)トルコギキョウのえそ斑紋病(新発生) *Impatiens necrotic spot virus*

(9)ブルーンの炭疽病(新発生) *Colletotrichum acutatum* Simmonds ex Simmonds

(10)トウキのコウノフタオアブラムシ(新寄主) *Cavariella konoii* Takahashi

(11)うどのヒメシロコブゾウムシ(新発生) *Dermatoxenus caesicollis* (Gyllenhal)

(12)こごみのクロアシコメツキモドキ(新寄主)

Lauguriomorpha nigratarsis Waterhouse

4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

5. 残された問題とその対応

- 1) 各種病害虫の要防除水準の設定
- 2) 簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
- 3) 発生変動要因の解明と発生予察法の改善
- 4) 病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化